

おまけのおまけシリーズ

「ガーディアンの気持ちならぬ」「私の独り旅日記」→第11回

今回は8月27日～29日まで大磯→小田厚、東名、東北道で福島県郡山→磐越自動車道で会津宮下→国道252号線で尾瀬街道「みしま宿」→只見線絶景ポイント→深沢温泉（むら湯）→只見湖（只見ダム）→田子倉湖（田子倉ダム）→新潟県長岡→十日町→津南町→野沢→飯山→中野→上越自動車道で千曲→長野自動車道で松本→上高地→白骨温泉→松本→中央道諏訪→姫木平→諏訪南→相模湖→圏央道厚木→小田原厚木道路で大磯。（総走行距離約1,000キロ超）

1) 8月27日

実は今年のガーディアン月報7月号（おまけシリーズ第7回）で書いた只見線の旅では満員電車でテレビや新聞で見るような絶景が見られなかったので今回はなんとしても見たくて、これは車で行く以外ない！と、車で行くことにしました。

車で行くことについて私は車の運転には絶対の自信がり、このことをいろいろな人に言うと、みんながみんな「そういう人が1番危ない！」と言われたので、絶対に事故を起こしてはいけないし、スピード違反で捕まってもいけないと、心に誓い、皆さんに迷惑を掛けられないと慎重運転に徹しました。

すいている時間帯を選び夜中に出て行きました。事前にネットで調べて只見線の絶景ポイントは尾瀬街道の「みしま宿」という道の駅に車を止めるのが1番良いとあって、ナビをそこに入れると午前6時頃着くと出た。東名、東北道の制限時速は最高120キロとあり、初めの内は制限速度を守って走りましたが、夜中の東北自動車道はガラガラで知らない内に時速150キロも出ていました。「これはいけない、捕まっちゃう」と独り言を言いながら安全運転に努めました。

それでも何回か休憩しながらナビ通りに行くと第1の目的地に4時半頃着いて、一眠りして空が明るくなってから写真を撮る場所まで30分ほど歩いて行くと鉄塔があり、既に何人かの人たちが三脚に高級そうなカメラを取り付け、更に望遠レンズも付けて、鉄橋の上を電車が通るのを待っていました。

私と言えば、スマホを持ってスタンバイしていました。やがて1番電車が来てみんなシャッターを押し始めました。私もやっと良い写真が撮れて、安心と満足して道の駅まで戻りました。

みちの駅「みしま宿」にはJRの計らいか、道の駅の計らいか、電車が鉄橋を通過する時間表が出ていました。今度は紅葉の季節か、冬の雪の季節に来てみたいと思いましたが無理そうです。

絶景ポイントを写真に撮った後、去年10月に行った只見駅から20分ほどの深沢温泉に行きました。ここは去年もそうでしたが、秘湯の湯ではありませんが、関東地方ではあまり知られていなくて、今回も露天風呂は独り占めでした。

2) 8月28日

今日は只見から国道252号線で只見湖ダムや田子倉湖ダムを通過して、山道を峠越えて新潟の長岡を目指して、山の中ではラジオもテレビの音声も途切れがちなので、こんな時のために大好きな山の歌のCDを聞きながらのドライブは独りでも快適でした。上越自動車道や長野自動車道、そして一般道を走りながら、丸1日掛かって、上高地の5,6キロ手前の秘湯の湯「坂倉温泉」に夕方到着しました。まる1日のドライブは些か疲れましたが、温泉に入って美味しい夕食を食べると疲れも忘れられました。この坂倉温泉に来て気が付いたのですが、この先は車では上高地に入れないのです。これはもう20年以上前からだと思いますが排ガス規制と上高地の自然保護の為です。一般の人が上高地に行くには松本から長野電鉄に乗って「新島々」という駅から、バスで行かなければなりません。このバス代はかなり高いと思います。その点、この坂倉温泉に泊まると、その駐車場に車を止めて宿の目の前からバスに乗って上高地に行くことができます。

3) 8月29日

上記のようにして朝7時半のバスで上高地に向かいました。上高地に入ったのは15年ぶり位だろうか？62年前には真冬と真夏を除いて毎月のように上高地から北アルプスに登っていました。

上高地に行って驚いたのは、もうそこには昔の上高地はありませんでした。昔の上高地はクライマーやアルピニストの聖地で山男、山女がほとんどでしたが。今は若いカップルや家族連れ、高齢のご夫婦、それに高齢のおばあちゃん達のグループで有名な梓川や河童橋はあふれていました。更に驚いたのはサルが異常繁殖していました。ここのサルは人間に危害を加えることはないとのことでしたが、なぜこんなに増えたのか？分かりませんでした。

天気が非常に良かったので500円の高いコーヒーを買って河童橋近くのベンチで暫く穂高連峰や槍ヶ岳を眺めながら、若かりし頃の自分を思い出していました。そう言えば、昔雨降りて山に登るのも諦めて、明神池で1日中岩魚釣りをしていた3人で2匹きり釣れなかったことなんか思い出していました。今は遙か昔です。

10時頃のバスで再び坂倉温泉まで戻り、松本に出る手前にこれも有名な白骨温泉に立ち寄りました。ここで大失敗したのは白骨温泉は町営の日帰り温泉が有名なのですが、入り口に「準備中」の看板が掛かっている、係の人が取り忘れたのかと思い、階段を10分程歩いて温泉まで行くと、人が丁度出て来て「今日は休みです」と。これには流石に私も怒って「上の入り口のどこにも休みとは書いてない！」と。

そこで押し問答しても仕方なく、今度は15分程かけて登ったのでした。そして宿屋らしい日帰り温泉に入ったのですが、何とも言えず変な温泉でがっかりでした。

そう言えば昔、白骨温泉は事件を起こしたことがありましたがご存じですか？

松本近くの美味しそうな蕎麦屋でそばを食べて、さあ帰ろうと思ったのですが、白樺湖の近くの姫木平という分譲別荘地に住居を構えている学生時代に2年先輩の、憧れの女性を思い出し、会いたくなって電話をすると、すぐに思い出してくれて、「いいわよ、待っている」と言われたのでまたルンルン気分で車を走らせて、道を間違えながら姫木平の先輩宅に行き、暫し昔話（実はこの憧れの女性と亡くなった我が妻も大親友で、当時私がテントを担いで3人で奥秩父を縦走したので、先輩もこのことをよく覚えてくれていて、懐かしくも楽しい話を）して多分、我妻も許してくれたであろう、と勝手に決めて。これも62年前の思い出です。

今度は本当に中央道、圏央道、小田厚、を安全運転で大磯まで戻ってきました。こうして3日間1,000キロを超えた一人旅を事故もなく安全に帰れたことにホッとしました。

今回で一応「私の独り旅日記」を終了します。1年間という長い間、下手な作文にお付き合いいただいた皆様に感謝申し上げます。

今回の上高地近くの坂倉温泉で「日本の秘湯の湯」10か所、10軒の温泉に行ったことになり、ご褒美？でこの10軒の中で1か所、無料招待してくれることになっています。

12月は総集編として10か所の中では、どこの秘湯の湯が良かったか、皆さんにお勧めできるのはどこか等を書きます

更に「おまけシリーズ」に書かなかつたが行った所などを書いてみたいと思います。

(by テツ&ゴン)